



# スマイルニュース



## がん対策リードする 公明党

### 患者中心の医療へ全力／法整備を一貫してリード

がんは日本人の2人に1人が生涯のうちにかかる、「国民病」とさえ言われています。こうした状況を踏まえ、公明党は早くから、がん医療全般の充実のために、基本法の制定が必要と判断し、一貫して推進してきました。

#### 国の対策と公明党の主な歩み

2005年6月	党がん対策プロジェクトチーム（PT）設置
2005年11月	党PTが「がん対策の推進に関する提言」発表
2006年1月	党PTを、党がん対策推進本部に格上げ
2006年3月	党推進本部が法案の要綱骨子発表
2006年6月	がん対策基本法 成立
2007年4月	がん対策基本法 施行 がん対策推進協議会 設置
2007年6月	がん対策推進基本計画（第1期）策定
2012年6月	がん対策基本計画（第2期）策定
2013年12月	がん登録推進法 成立
2015年8月	党推進本部が提言発表
2015年12月	がん対策加速化プラン策定
2016年1月	がん登録推進法 施行 （全国がん登録 開始）
2016年12月	改正がん対策基本法 成立
2017年10月	がん対策推進基本計画（第3期）閣議決定（24日）

2005年当時、日本は先進国の中でも、がんによる死亡率が高い上、医療体制においても“遅れた分野”が指摘されていました。

具体的には、①がん患者の痛みや苦しみを和らげる「緩和ケア」の普及、②治療に極めて有効な放射線治療や化学療法の専門医の育成、③治療や早期発見に役立つ「がん登録」制度の導入が課題でした。

公明党は、日本のがん対策に欠けていた、これら3分野の推進を柱に据え政策を推進しました。

### 公明作成の骨子をもとに法案を作成

「国民の命を守る」ことこそ政治の最優先課題と位置付ける公明党は、05年6月、党内にがん対策プロジェクトチーム（PT）を設置。専門家や患者団体との意見交換、がん医療の現場視察などを精力的に重ね、同年11月に提言を政府に申し入れました。

さらに、「がん患者中心の医療を整備するには基本法の制定が急務」との立場から、06年1月に同PTを「がん対策推進本部」に格上げし、動きを加速させました。同年3月には党独自のがん対策基本法案の要綱骨子を発表。その後、自民、公明の与党PTで作成された基本法案は、この骨子がたたき台となり、公明党の主張が随所に反映されました。

当初、民主党（当時）は対決姿勢を強めていましたが、公明党が粘り強く交渉を重ねた結果、与党案を修正することで合意。同年6月の参院本会議で全会一致で可決・成立しました。

柳沢伯夫厚生労働相（当時）は国会で、「がん対策は政府・与党、特に公明党が力を発揮したものだ」と答弁しています。

公明党はその後も、がん登録推進法（13年12月成立）や改正がん対策基本法（16年12月成立）の制定を一貫してリード。検診受診率の向上や専門病院の充実など、がん対策は着実に前進してきました。今後は「がん予防」を第一の柱に、更なるがん対策の推進に取り組んで参ります。

#### がん対策の進ちょく状況

	以前	現在
がん検診受診率	1～2割程度 （2004年） 例 男性胃がん 27.6% 男性肺がん 16.7% 女性肺がん 13.5% 女性乳がん 19.8%	3～4割程度 （2013年） 例 男性胃がん 45.8% 男性肺がん 47.5% 女性肺がん 37.4% 女性乳がん 34.2%
専門的ながん医療を提供する拠点病院の整備	135カ所 （2005年）	401カ所 （2015年）
緩和ケアの知識を習得した医師数	2万124人 （2010年12月末）	5万7764人 （2015年3月末）
がん登録	都道府県主体の「地域がん登録」	今年1月から国の「全国がん登録」開始

2016年厚労省の資料から

## 9月定例議会 個人質問

### がんの早期発見の取り組み強化

問

胃がん検診について、内視鏡検査を導入する考えはありませんか。

答

バリウムでの胃がん検診は、誤飲のリスクなど、高齢者の安全性の問題があります。内視鏡検査の導入について、成人保険専門部会等で実施に向け検討してまいりたいと考えております。

問

日本は、乳がんの罹患者数、死亡者数で世界ワースト1。特に若年層の割合が増加しています。セルフチェックを推進するため、風呂場などに貼って使用できる「乳がんチェックシート」などを活用してはどうでしょうか。

答

セルフチェックを継続的に実施してもらえよう「乳がんチェックシート」を含めて検討してまいります。



乳がんチェックシート→

### 合葬式墓地の整備へ

問

合葬式墓地を整備するよう、組合に申し入れるなど推進する考えはありませんか。

答

合葬式墓地の必要性を認識しています。市として組合の整備に向けた検討に協力してまいります。



八千代市宮堂園合葬式墓地を視察

### バス停留所の環境整備を

問

バス停留所の整備について今後の取り組みを伺います。

答

平成29年度中に、各ルート、各バス停留所の点検を行い状況把握に努めます。その状況により各道路管理者と協議し環境整備の方策について検討してまいりたいと考えております。



← 改善へ早速作業する職員

## 現場第一主義 公明党

### — 台風被害を調査 —

10月23日、台風21号による降雨により、民家の裏山が幅約5メートル、高さ約5メートルにわたり崩落し、土砂が自宅1階の風呂場まで流れ込んだ浦部宮内地区の被害状況を調査。被災された住民、地元関係者、市の職員（防災課・土木管理課）から話を伺いました。※写真①② 人的被害がなかったことは不幸中の幸いでしたが、崖上の市道は通行止め。今後の降雨によってはさらに崩落が拡大する懸念もあることから、早急な復旧工事が必要です。市長をはじめ担当課長等に、地元関係者との協議を進め補正予算を組むなど速やかな対応を求めました。

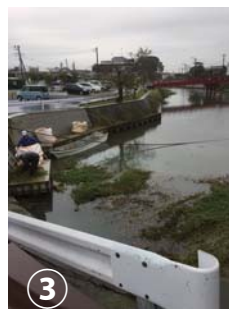
同月25日には、弁天川、手賀川に繁茂している外来植物（ナガエツルノゲイトウ）が大量に流れ着いた、手賀排水機場の撤去作業の様子を調査。※写真③④ 関係職員から状況を聞きました。「古い施設のため給水口に撤去機能がなく、手作業で撤去を行っている。次の台風に備え早急に撤去したい。量が多く、施設裏に一時保管しているが、処理について苦慮している」との声。直ちに、地元県議会議員に対応を依頼。市の担当部長に、今後の国、県との連携・協力等を要請しました。



①



②



③



④

もっと広げたい安心の笑顔!

印西市議会議員 浅沼みやこ



— KOMEITO —  
**公明党**



〒270-1323 千葉県印西市木下東3-13-9  
TEL:0476-42-0999 FAX:0476-42-0779

発行人/浅沼美弥子